

青工研かわら版 5月号 vol 1



第1ブロック 第2回 ブロック会

テーマ 喜びの探究1～耳を傾けろ！～

第1ブロック 第2回ブロック会の状況



- 開催日 2022年5月16日
時間 19:30～21:40
開催場所 商工会館
担当者① 大井ブロック長（相模設備工業株式会社）
<http://www.saga-setsu.co.jp/>
担当者② 石井（株式会社石井）
<https://www.canvas-ishii.com/>

本ブロック会は、傾聴力を向上させる事を目的に行われました。事前に担当ペアの二人が初見の方と対談し、その対談を元に傾聴力について議論を行いました。

青工研ならではの議論

最初は二人の対談についての意見などが出ていたところに、そもそもこのブロック会をやる意義があるのか？二人に足りないのは本当に傾聴力なのか？と言う、青工

研らしい、切込みが入り、ブロック会に臨む姿勢として、気配りや配慮が足りていない、そもそも傾聴力の前提として、相手との信頼関係を持つ事が重要なのでは？と白熱した議論が展開されました。



そして、そもそも相手に興味を持つ事が二人には足りていないのでは？と内面に切り込む青工研らしいブロック会となりました。



記者：波多野佑典

担当者（企画者）① 大井ブロック長

準備・周知の不足の為に、討議においてブロック員を困惑させてしまう結果となってしまいました。

しかし、ブロック員から、ブロック会へ臨む姿勢を問いただされた事により、話を聴く為にはまずこちらが相手への気遣いや心配りをした上で発信し、相手との信頼関係を構築する必要がある事が分かりました。そして自身がそこから逃げていた事も自覚する事が出来ました。

ブロック会の開始時は議論がなかなか盛り上がらない展開にどうなるのかと見守っていましたが、青工研らしい切込みがあり、そこから議論がヒートアップして行きました。まさに場の空気が変わる瞬間を感じました。



担当者（企画者）② 石井

準備の段階でブロック員全員に対し、担当者の想いや背景をしっかりと伝える行動が足りず、本ブロック会では的を射ない討議となってしまいました。

自身がどうなりたいか？傾聴力を高める事で何が得られるのかが不明瞭のままでしたが、討議で自分の想いをさらけ出す事で、ブロック員から忌憚のない意見を頂き、「聴く前に自分をさらけ出す」事の重要性に気がつきました。

